

第97期 中間報告書

2020年4月1日 >> 2020年9月30日



Contents

株主の皆様へ	P.1
セグメント別概況（連結）	P.3
トピックス	P.5
連結財務諸表	P.7
会社情報・株式情報	P.9

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申しあげます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ感染拡大防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

当社グループはこの9月30日をもって、第97期の第2四半期累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）を終了いたしましたので、業績について概要をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により人の流れが大幅に制限され、国内外の経済活動に収縮が生じました。中国では経済活動が再開したことなどにより景気の持ち直しの兆しがみられましたが、米中貿易摩擦の影響もあり大きな改善には至らず、国内においては民間設備投資等の水準が低く、厳しい状況で推移いたしました。

このような景況の下で当社グループといたしましては、感染拡大防止を最優先としつつ受注を確保するため、Web会議システムを積極的に活用して営業活動に取り組んでまいりました。また、影響が軽微な官需の取り込みを図るとともに、省人化ニーズに合致した製品等の需要の探索に努め、さらには、新たな販売促進の取組としてオンライン上でバーチャル展示会を開催し、当社の幅広い製品群の提案活動を推進してまいりました。

サプライチェーンの強化としては、代替調達先を確保する

ことで安定的な部材の調達に努め、生産への影響を最小限に留めてまいりました。利益の確保に向けては、コストダウンに加え、収益緊急対策を実施し費用の削減を推し進めてまいりました。

その結果、企業集団の連結業績につきましては、受注高は405億20百万円（前年同期比6.3%減）、売上高は398億1百万円（同2.0%増）となりました。損益面につきましては、経常利益は14億58百万円（同579.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億57百万円（同999.2%増）となりました。

配当は継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、株主の皆様の利益と、財務体質の強化及び今後の事業展開のための内部留保の充実、先行きの収益状況を勘案して利益配分を決定することとしております。中間配当については、予定どおり実施は見送り、期末配当として一括して実施することといたします。株主の皆様には何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、海外においては、米国や中国など回復の兆しがみられる国もありますが、新型コロナウイルス感染症の収束は依然として目途が立っておらず、米中関係の動向など懸念事項もあることから、世界経済は不透明な状況が続くものと予想されます。国内においては、公共投資は比較的堅調に推移すると見込まれるものの、民間設備投資の慎重姿勢は続くことと見られます。

企業理念

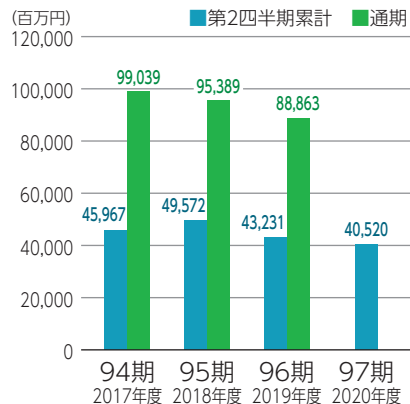
「一歩先を行く技術」
「地球を大切に作る心」
「思いやりのある行動」

私たちはこの3つを大切に

人から宇宙まで

豊かな暮らしと社会の発展に貢献します。

受注高



このような情勢の中で当社グループといたしましては、本年度を最終年度とする中期経営計画「SINFONIA ABC 2020」の基本方針である強固な収益性、健全な財務体質確立に向けた土台作りと先進技術を活用した技術開発力のさらなる強化を進めております。また、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の産業構造や需要構造の変化に合わせ、新たな成長基盤を再構築していくため、本年10月に組織の一部を改編し、新事業創出を実現する体制を強化いたしました。

設備投資需要の本格的な回復時期は不透明ですが、比較的堅調な分野を中心に受注の獲得に取り組みシェア拡大を図るとともに、国内での新規顧客開拓を推進するため、既存製品の新用途探索を進めてまいります。同時に、ポストコロナという環境の変化を見据えた製品開発を推進するなど、ニーズの変化に対応して事業活動に取り組んでまいります。

また、引き続き収益緊急対策を徹底し、費用の削減に努める一方で、今後の成長に必要な設備投資や開発投資は実施するなど、適切な経営資源配分を図ってまいります。

これからも、株主の皆様、顧客の皆様から評価していただきますよう、さらに企業価値を高め、成長し続ける企業集団となるべく、グループを挙げて努力を重ねてまいりますのでございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

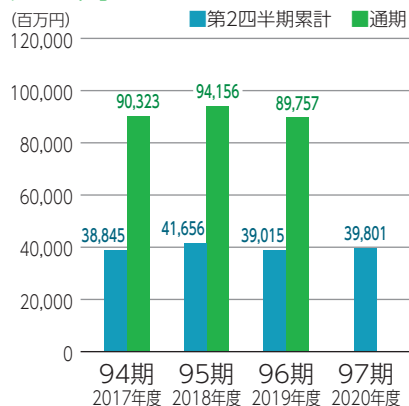
武藤 昌三

代表取締役社長

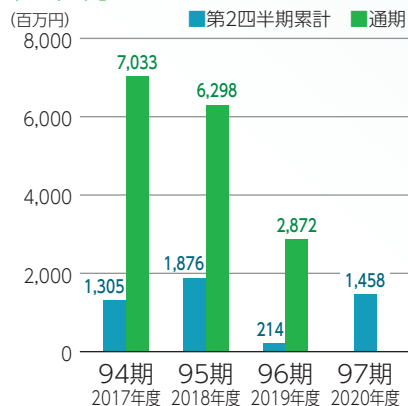
斉藤 文則

2020年11月

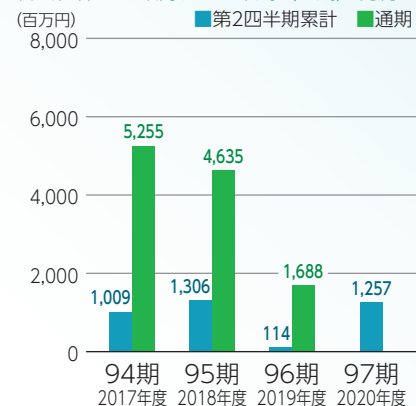
売上高



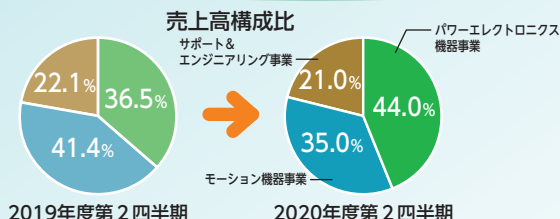
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



セグメント別概況(連結) Overview by Segment



当社グループの事業セグメントは、「パワーエレクトロニクス機器事業」「モーション機器事業」「サポート&エンジニアリング事業」の3つで構成しております。

セグメント別の当第2四半期売上高構成比は、左グラフの通りパワーエレクトロニクス機器事業が前年同期比7.5ポイント増の44.0%、モーション機器事業が前年同期比6.4ポイント減の35.0%、サポート&エンジニアリング事業が前年同期比1.1ポイント減の21.0%となりました。

当上半期におけるセグメント別の概況は以下の通りです。

パワーエレクトロニクス機器事業

受注高 162億 86百万円
(前年同期比 1.4%減)

売上高 174億 97百万円
(前年同期比 22.8%増)

営業利益 10億 98百万円
(前年同期比 314.5%増)

受注高は、クリーン搬送機器部門及び社会インフラシステム部門で増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、振動機器部門が減少したこと等から、162億86百万円（前年同期比1.4%減）となりました。売上高は、クリーン搬送機器部門及び社会インフラシステム部門での増加により、174億97百万円（同22.8%増）となりました。損益面につきましては、売上高の増加等により、営業利益は10億98百万円（同314.5%増）となりました。



クリーン搬送機器部門

精密なデバイス加工精度と高度なクリーン搬送技術が求められる半導体製造工程において、世界のトップブランドとして信頼を集めています。大気搬送技術はもちろん、独自開発のN2パージ機構を持つロードポートや真空搬送技術で、より微細化と歩留まり向上の要求が高まる半導体メーカーの期待に応えています。



振動機器部門

振動機器のトップメーカーとして、食品・化学・リサイクルなど、あらゆる業界へ振動コンベヤ等を提供。また、スマートフォン等に使われる微小部品からネジなどの大形部品まで様々な生産・加工ラインにおける部品供給・整列搬送システムを提供しています。



社会インフラシステム部門

上下水道の監視制御システム、道路管理用電気設備、さらには再生可能エネルギー発電装置を核とした小規模スマートグリッドシステムなどを提供。安心と快適、そして省エネルギーを実現しながら信頼できる社会インフラを支えています。



自動車用試験装置部門

スピーディーな開発や安全性が求められる自動車産業において、衝突試験装置等の各種実験装置・検証装置を数多く提供。ハイブリッド自動車・電気自動車など、時代の要求に応える最先端自動車の開発に貢献しています。



産業インフラシステム部門

地下街や大規模施設の空調設備に利用される冷凍機用モータ、液化天然ガスの汲み上げに使われるモータ、駐機中の航空機に電源供給する空港用電源車、産業施設・オフィスビル・レジャー施設等の常用・非常用・コージェネレーション用の発電機、様々な現場ニーズに応えるリフマブ®、最先端の金属素材開発を実現する真空溶解炉などを提供しています。

モーション機器事業

受注高 **142億 64百万円**
(前年同期比 10.5%減)

売上高 **139億 41百万円**
(前年同期比 13.6%減)

営業利益 **1億 77百万円**
(前年同期は営業損失4億3百万円)

受注高は、航空宇宙システム部門で増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、モーションコントロール機器部門及びプリンタシステム部門が減少し、142億64百万円(前年同期比10.5%減)となり、売上高は139億41百万円(同13.6%減)となりました。損益面につきましては、売上高の減少はあったものの、航空宇宙システム部門での新規案件の費用増が収束しつつあり、収益が改善したこと等により、営業利益は1億77百万円(前年同期は営業損失4億3百万円)となりました。



航空宇宙システム部門

我が国唯一の航空機用電源システムメーカーとして、発電機をはじめとした航空機用電装品等を提供。また、ヘリコプター用レスキューホイストなど人命救助に役立つ製品からロケット用制御システムなど宇宙分野で活躍する製品まで幅広く提供しています。



モーションコントロール機器部門

産業用電磁クラッチ・ブレーキからOA機器用マイクロ電磁クラッチ、自動車用電磁クラッチ、自動車用制振装置、鉄道用ブレーキ、建設機械用コントローラ、産業用サーボアクチュエータなど、豊富なバリエーションを提供。様々な機器の動作制御に関わるモーションシステム製品を幅広く提供しています。



大型搬送システム部門

巨大な航空機の牽引をはじめ、乗客の乗り降り、貨物の搬入搬出を担う空港用地上支援車両など、空港運営に不可欠な重量物搬送を行う特殊車両を提供。さらに、港湾、倉庫、造船所における超重量物搬送で活躍する産業用特殊車両など、用途に特化した各種車両を提供しています。



プリンタシステム部門

アミューズメント施設や街中で見られるシールプリントやカードゲーム機、各種プリントサービスに使われている昇華型プリンタを提供。世界最速・最高解像度を実現し、世界初の両面プリンタやツインヘッド方式によるホログラムプリンタを開発するなど、プリント&ビジュアル分野の可能性を広げています。

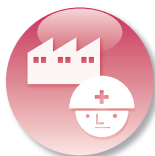
サポート&エンジニアリング事業

受注高 **99億 70百万円**
(前年同期比 7.5%減)

売上高 **83億 62百万円**
(前年同期比 3.0%減)

営業利益 **2億 85百万円**
(前年同期比 34.3%減)

設備工事が減少したこと等により、受注高は99億70百万円(前年同期比7.5%減)、売上高は83億62百万円(同3.0%減)となりました。損益面につきましては、売上高の減少等により、営業利益は2億85百万円(同34.3%減)となりました。



シンフォニアエンジニアリング(株)

当社製品の保守・サービス業務、公共、民間の電気工事、管工事、搬送工事等の設計施工業務及び情報機器(券売機、入退場システム等)の製造・販売・サービス業務を主要事業として展開しております。



(株)S & S エンジニアリング

病院内搬送をメインに、移載・収納・保管を含むトータルな搬送システムの導入計画立案から設計、施工、メンテナンスまで一貫した取組で、最適な搬送ソリューションを提供しています。

サポート&エンジニアリング事業は、上記2社の他、保険代理業、運送業、労働者派遣業や当社グループ内の経理・給与業務を請け負うシンフォニア商事(株)、ソフトウェア開発やOA機器の販売を行う(株)アイ・シー・エスにより構成されています。

バーチャル展示会を初開催

当社は、本年9月16日から18日までの3日間、オンライン上で独自のバーチャル展示会を初開催いたしました。

これまで当社では、各事業で様々な分野、業界の展示会に出展し、新製品や新技術の展示、プレゼンテーションを行ってまいりましたが、本年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響による展示会の中止や出展見合わせでその機会を失ってまいりました。こうしたコロナ禍においても、当社は製品の開発・改良・ラインナップの充実を進めており、それらの発表・商談の手段として、感染拡大防止に配慮しながらも当社製品をお客様に広く周知いただけるようバーチャル展示会を開催するに至りました。

今回のバーチャル展示会では、当社の多岐にわたる事業分野の中から、6部門の営業担当者による製品紹介プレゼンテーションをウェビナー（Webセミナー）形式で配信を行い、実機を用いて特長を紹介したほか、稼働・用途事例などを紹介しました。またオンラインでのチャット機能を活用し、参加されたお客様からのご質問に営業担当者が即時対応しました。

初開催ながら好評を博し、開催した3日間でのアクセス数は1万を超えました。チャットでの即時対応は開催期間のみで終了しておりますが、引き続き当社ホームページ上ではバーチャル展示会の様子をご覧いただくことができます。

当社では、以前より総合カタログや一部名刺にAR*を使用するなど、販売促進の手段として新しい取組に挑戦してまいりました。コロナ禍ではありますが、今後も状況に応じた取組を模索しながら受注拡大を図ってまいります。

※ARとは、実在する風景などにバーチャルの視覚情報を重ねて表示し、目の前にある世界を仮想的に拡張すること



ウェビナー配信の様子



ARでカタログ内製品の動画を表示

アクティブトルクロッドが「2019年度日本機械学会賞（技術）」と「第70回自動車技術会賞（技術開発賞）」を受賞

当社が日産自動車(株)殿、(株)ブリヂストン殿と共同開発した「アクティブトルクロッド」が、一般社団法人 日本機械学会殿主催の「2019年度日本機械学会賞（技術）」及び公益社団法人 自動車技術会殿主催の「第70回自動車技術会賞（技術開発賞）」を受賞いたしました。

アクティブトルクロッドとは、従来のエンジンマウントの一種「トルクロッド」に、アクティブ制振技術を付加することにより防振性能を向上させた世界初の技術で、日産自動車(株)殿が北米及び中国で販売している車種に搭載されています。

今回は燃費改善のためのエンジン小形化等により増大する車体振動に対し、より小形かつ軽量のエンジンマウントでの対応を可能にした点が評価され受賞いたしました。

当社は2003年に独自の磁気回路を採用した可動鉄心型リニアアクチュエータ「レシプロモータ」を発表、2006年からは応用技術としてモータでマス（おもり）を振り発生させた加振力により車体振動を相殺する「アクティブマスダンパ」の開発を進めてまいりました。

今回受賞したアクティブトルクロッドには当社がアクティブマスダンパの開発で培った技術が採用されており、レシプロモータ、小形でエンジンルームでの使用に耐え得る加速度センサ、制振アルゴリズムを含むコントローラの開発を担当しています。

当社はアクティブ制振技術をさらに発展させ、今後自動運転技術やEV車の普及に伴いより課題となるロードノイズなど自動車の制振ニーズへの取組を進め、さらに建機、船舶など新たな分野への応用も検討しています。



アクティブトルクロッド

【日本機械学会賞】

1958年に日本の機械工学・工業の発展を奨励することを目的として設けられ、毎年優れた論文や技術などに対し授賞しています。

【自動車技術会賞】

1951年に自動車工学及び自動車技術の向上発展を奨励することを目的として設けられ、自動車技術における多大な貢献・功績に対し授賞しています。

連結貸借対照表 (2020年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部	
流動資産	57,170
現金及び預金	9,748
受取手形及び売掛金	27,579
商品及び製品	1,276
仕掛品	10,690
原材料及び貯蔵品	7,466
その他	452
貸倒引当金	△43
固定資産	46,835
有形固定資産	31,333
建物及び構築物（純額）	11,486
土地	14,584
その他（純額）	5,262
無形固定資産	2,814
投資その他の資産	12,687
投資有価証券	9,108
その他	3,747
貸倒引当金	△168
資産合計	104,006

負債の部	
流動負債	41,098
支払手形及び買掛金	15,260
短期借入金	11,640
1年内返済予定の長期借入金	2,577
未払法人税等	355
製品保証引当金	155
受注損失引当金	1,526
その他	9,581
固定負債	18,486
長期借入金	12,008
役員退職慰労引当金	113
環境対策引当金	298
退職給付に係る負債	3,509
その他	2,556
負債合計	59,584
純資産の部	
株主資本	36,864
資本金	10,156
資本剰余金	452
利益剰余金	26,587
自己株式	△332
その他の包括利益累計額	7,557
その他有価証券評価差額金	3,802
繰延ヘッジ損益	0
土地再評価差額金	3,913
為替換算調整勘定	227
退職給付に係る調整累計額	△385
純資産合計	44,421
負債純資産合計	104,006

連結損益計算書 (2020年4月1日より 2020年9月30日まで)

(単位：百万円)

売上高	39,801
売上原価	31,784
売上総利益	8,016
販売費及び一般管理費	6,448
営業利益	1,568
営業外収益	257
受取利息及び配当金	126
移転補償金	90
その他	40
営業外費用	366
支払利息	78
支払補償費	94
事務所移転費用	64
その他	129
経常利益	1,458
特別利益	268
投資有価証券売却益	268
税金等調整前四半期純利益	1,727
法人税等	470
四半期純利益	1,257
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,257

連結キャッシュ・フロー計算書 (2020年4月1日より 2020年9月30日まで)

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11
現金及び現金同等物の増減額	2,126
現金及び現金同等物の期首残高	7,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,748

▶ 財務情報の詳細は、
当社ホームページIRサイトをご覧ください。



<http://www.sinfo-t.jp>

シンフォニアテクノロジー 検索

会社概要

会社名	シンフォニアテクノロジー株式会社
設立	1949年(昭和24年)8月
創業	1917年(大正6年)5月
資本金	101億5,696万円
従業員	3,693名(連結)
本社所在地	〒105-8564

東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝NBFタワー

株式の状況

発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	29,664,385株(自己株式124,737株を除く)
株主数	12,739名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数	出資比率	
		千株	%
日本スタートラスト信託銀行(株) (退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口)	2,979	10.04	
日本スタートラスト信託銀行(株) (信託口)	1,556	5.25	
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,080	3.64	
(株)日本カストディ銀行(信託口)	1,059	3.57	
ダイキン工業(株)	1,017	3.43	
シンフォニアテクノロジーグループ 従業員持株会	934	3.15	
シンフォニアテクノロジー取引先持株会	818	2.76	
大日本印刷(株)	732	2.47	
(株)日本カストディ銀行(信託口5)	545	1.84	
ナブテスコ(株)	461	1.56	

(注) 1. 日本スタートラスト信託銀行(株)(退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口)の持株数2,979千株は(株)神戸製鋼所から同信託銀行へ信託設定された信託財産です。信託約款上、当該株式の議決権の行使についての指図権限は(株)神戸製鋼所が保有しております。

2. 出資比率は自己株式(124,737株)を控除して計算しております。

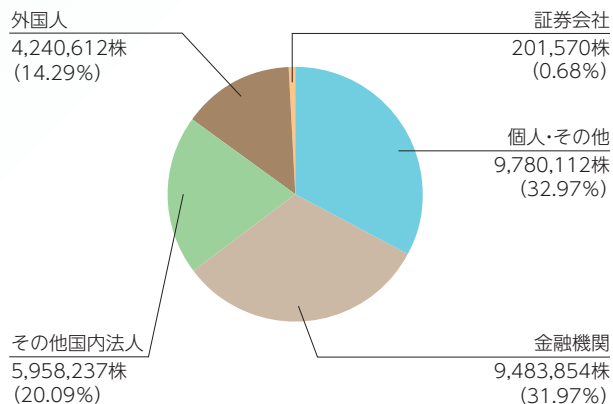
主要な営業所及び工場

支社	大阪、名古屋
支店	九州(福岡)
営業所	東北(仙台)、新潟、北陸(富山)、静岡、三重(伊勢)、中国(広島)
工場	伊勢製作所(伊勢、鳥羽)、豊橋製作所

主要な子会社の本社所在地

シンフォニア商事(株)(伊勢)
 シンフォニアエンジニアリング(株)(伊勢、東京)
 (株)アイ・シー・エス(伊勢)
 (株)大崎電業社(東京)
 (株)S&Sエンジニアリング(東京)
 シンフォニアマイクロテック(株)(明石)
 昕芙旋雅機電(香港)有限公司(中華人民共和国・香港)
 昕芙旋雅機電(東莞)有限公司(中華人民共和国・東莞)
 SINFONIA MICROTEC(VIETNAM)CO.,LTD.(ベトナム社会主義共和国・ハナム)
 SINFONIA TECHNOLOGY(THAILAND)CO.,LTD.(タイ王国・サムットプラカーン)
 昕芙旋雅商貿(上海)有限公司(中華人民共和国・上海)

所有者別株式分布状況



役員

取締役及び監査役

代表取締役会長	武藤昌三
代表取締役社長	斉藤文則
取締役	川久伸
取締役	平野新一
取締役	坂本克雅
取締役	成久雅章
社外取締役(非常勤)	重河和夫
社外取締役(非常勤)	水井聡
監査役(常勤)	水百俊次
社外監査役(常勤)	大西健司
社外監査役(非常勤)	下谷收
社外監査役(非常勤)	藤岡純

執行役員

※専務執行役員	川久伸
※専務執行役員	平野新一
※執行役員	坂本克雅
※執行役員	成久雅章
執行役員	仲真司
執行役員	堀悟
執行役員	永井博幸
執行役員	花木敦司
執行役員	溝端浩輝
執行役員	中村俊樹
執行役員	千手裕治
執行役員	加藤清巳
執行役員	山国稔一
執行役員	幡野隆一

- (注) 1. 当社は、重河和夫、水井 聡、大西健司、下谷 收、藤岡 純の5氏を(株)東京証券取引所の定めに基づく独立役員として同取引所に届け出ております。
2. 上記※印の者は、取締役を兼務しております。

単元未満株式(1株~99株)買増及び買取請求のご案内

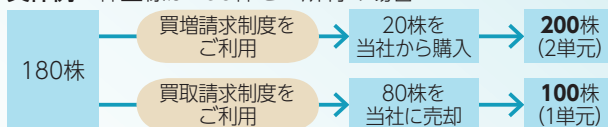
当社株式の証券市場での取引は100株単位となっており、単元未満株式を市場で売買することはできません。

当社では、「単元未満株式買増請求制度」または「単元未満株式買取請求制度」のいずれかの制度を選択してご利用いただけますので、ご案内申し上げます。

買増請求制度 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて単元株式(100株)となるように、市場価格で当社から購入することを請求できる制度です。

買取請求制度 株主様がご所有の単元未満株式を、市場価格で当社に売却することを請求できる制度です。

具体例 株主様が180株をご所有の場合



単元未満株式の買増・買取、住所変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座にて管理されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

特別口座から一般口座への振替えについて

株券電子化に際して、証券会社等に株券を預けられていなかった株主様の株式は、三井住友信託銀行株式会社の特別口座に記録されています。特別口座に記録されている株式につきましては、株主様が保有株式の管理を簡便にするため、証券会社等の口座(一般口座)に振替えいただくことをお勧めいたします。

ご所有の株式が特別口座に記録されているかご不明の場合や、一般口座への振替えのお手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(その他必要あるときは予め公告します。)

上場取引所 東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 TEL 0120 (782) 031 (フリーダイヤル)



シンフォニア テクノロジー 株式会社

〒105-8564
東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝NBFタワー
TEL 03 (5473) 1800
<http://www.sinfo-t.jp>

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この印刷物はFSC®認証紙を使用しています。この印刷物は植物油インキで作成されています。

